

貝塚市立第 2 中学校
2009 年度学校教育アンケートについてのまとめ

2 学期の個人懇談時に学校教育診断段にご協力頂きまして、ありがとうございました。
学校教育自己診断の結果が、まとまりましたので結果の概要をご報告します。

生徒

8 割の生徒は学校が楽しいと考えており行事も楽しく参加できているようです。
生徒会活動も 8 割の生徒が活発だと感じています。
部活動に関しては 1・2 年の意欲が高いのですが、11 月にアンケートをとったので、
3 年生の数字がやや低めに出たということも考えられます。
学習に関して上級生になるほど授業に対して前向きに取り組むことができるようになり、
進路学習や人権学習についても同様の傾向を示しています。
下級生の積極的な授業参加を目指して、わかりやすい授業を研究していきたいと考えます。

保護者

ほとんどの項目について、8 割を超える保護者の方々が快く学校の活動を
受け止めてくださっています。
授業については 3 分の 1 の方々が「授業をもっと楽しくわかりやすく」してほしいと
思われているので、学校も生徒の学力実態をふまえて、
さらなる授業の工夫に取り組んで行きたいと思えます。
P T A 活動については 3 分の 1 の方々が「やや参加しにくい」とお考えでした。
保護者のみなさんの声を頂きながら、今後の P T A 活動を展開していきたいと考えます。

教職員

差別や偏見のない社会を目指して、生徒のひとりひとりを大切にしようとする教職員の
意欲がアンケートでよく現れました。
学習の方法や内容について日々研鑽を積んできましたが、
生徒の授業に対するアンケートから、まだまだ授業改革や工夫が必要であるということが
読み取れるので、ますます強く取り組んでいきたいと考えます。
施設・設備については 3 分の 1 の教職員がより一層の充実を望んでいます。
また、3 分の 1 が緊急時の適切な対処の練習を深めたいと思っております。
人権総合学習においても現在以上にさまざまなテーマでの学習が必要だと考えているので、
さらに教育内容を深め、教職員館の連絡連携を密にし、切磋琢磨していきたいと考えます。

2010 年度も全力で教育に取り組んで参ります。
どうぞ支援ご協力の程、宜しくお願いたします。

